

令和4年度 第3回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月14日(火) 9:30~11:30
- 3 開催場所 下呂特別支援学校 多目的室
開催にあたり、委員による高等部作業製品バザーの見学を実施した
- 4 参加者

会長	細江 節子	下呂市単位民生委員児童委員協議会
副会長	目次 丈太	佐橋工業株式会社
委員	田口 久和	下呂市小川区長
	長谷川 和正	株式会社ハウテック
	今井 広一	加子母むらづくり協議会
	井口 フキ子	益田山ゆり園 (欠席)
	今井 悠香	下呂市障がい者生活相談センター
	奥田 あゆみ	下呂市福祉部こども家庭課 (欠席)
	二村 和仁	下呂特別支援学校PTA会長
学校側	駒田 武彦	校長
	安田 明弘	事務長 (欠席)
	熊崎 礼子	教頭
	上村 篤	小中学部主事
	原 るみ子	高等部主事
	新屋 郁子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和4年度 下呂特別支援学校 自己評価について

意見1: 感染対策等規制の多い中で、工夫しながら地域との交流活動が行われている。今後規制が緩和される中で、地域の方と触れ合う機会が広がり、コミュニケーションの力も育まれるとよい。

意見2: 地域のイベントで湯ヶ峰太鼓の演奏を聴く機会があり感動した。発表の場があり、生徒の活動を地域に知ってもらう機会があるのはよい。

意見3: 規制緩和の中でも必要な感染対策はあり難しい局面といえるが、校内行事を充実させることも児童生徒の成長につながると考える。

意見4: 課題として取り組んできた教材・教具の工夫について、授業参観をした際に実際に見て知ることができた。保護者参観等を通して理解が進んでいくとよい。

意見5: ホームページが拡充し、外部の人も学校の教育活動が分かりやすくなった。今後も継続してほしい。

意見6：いじめに関する取組等については、保護者懇談等の機会に話題にあげて、理解を進めていけるとよい。

意見7：コロナ禍で過ごした3年生は修学旅行をはじめ、以前のような体験はできなかったが、学校側の努力により、できる範囲で様々な活動ができ取組の成果が見られた。感染の収束により、満足いく学校生活が送れるようになるとよい。

(2) 高等部作業製品バザー（ふゆみんぐるバザー）の感想と意見について

意見1：感染対策をしながら工夫して開催されており、久しぶりに参加できて嬉しく思う。贈った相手に喜ばれる製品が多く、今後さらに地域に広げていけるとよい。

意見2：どの生徒も自信をもって製品の説明をしたり、接客をしたりしていた。特に3年生は行動制限の中で学校生活を送りながらも、成長した姿を見せていた。

意見3：はじめてバザーに参加できた。自分たちもできるのだという自信をもって地域社会で主体的に生活できることを願っている。

意見3：視線でデザインする教具もあり、生徒ができることを活かして製品づくりに取り組んでいる。生徒の得意なところ、できることをさらに伸ばしていけるとよい。

意見4：教員の支え、努力を感じることができた。今後も製品開発等継続してほしい。また、以前あった木工製品の復活も願っている。

(3) その他

ア 創立10周年記念事業及び記念式典について

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、出席の全委員より今年度の本校の自己評価について承認を得ることができた。

自己評価では、コロナ禍においても内容や方法を工夫して継続できた地域交流活動や、個に応じた教材・教具の研究、ホームページの改良等について理解を得ることができた。理解を得られた取組をさらに検討し継続していくとともに、地域に根差した学習の充実や教員の専門性の向上、教育活動の分かりやすい発信等の課題について改善を図っていく。

また、令和5年度に開催される創立10周年記念式典について、委員の理解と協力を得ることができた。積み重ねてきた10年間を振り返りながら、地域の中で主体的に生活する児童生徒を目指して、地域とのつながりを大切にした教育活動を今後も発展させていく。